

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 1 月 14 日作成)

小委員会名	西洋建築史小委員会	主 査 名：西田雅嗣 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：初田 亨 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若手研究者の育成・強化策について議論、検討する。</li> <li>・ 国際的な研究動向をふまえ、新しい研究活動、研究領域の拡大、隣接研究分野との学際協力の可能性、および日本における西洋建築史研究のありかたについて議論、研究する。</li> <li>・ 学術的国際交流促進の方法について議論・検討し、関係する情報の流通・公開の促進を図り、小委員会としての役割を検討する。</li> <li>・ 『西洋建築史図集』のメンテナンスの一環として、「デジタルアーカイブ」と「西洋建築史用語集」の作成の必要性と可能性について議論・検討し、試行する。</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査 西田雅嗣 (京都工芸繊維大学) 幹事 中島智章 (工学院大学)、加嶋章博 (摂南大学) 委員 伊藤重剛 (熊本大学)、伊藤大介 (東海大学)、稲川直樹 (中部大学)、海老澤模奈人 (東京工芸大学)、大橋竜太 (東京家政学院大学)、太記祐一 (福岡大学)、星和彦 (前橋工科大学)、堀賀貴 (九州大学)、横手義洋 (東京大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	西洋建築史図集改訂WG 主査：星和彦 (前橋工科大学) 『西洋建築史図集』のメンテナンスの一環として、改訂に向けての準備作業を行う。	
2008 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	ニコラ・レヴェロン (リヨン大学第二) 氏講演会 (公開小委員会)：『西洋中世の宗教建築における光』／日時：2008 年 7 月 10 日 (木) 16 時～18 時／場所：建築会館
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 我若手研究者によるシンポジウムの開催は、本年度は事情により実施できなかったが 2009 年度 5 月以降に実施する方向で準備に取り掛かっている。</li> <li>2. 『図集』について、新たな構成による「新訂版」の刊行に向けて WG を設置し、関係する種々の問題点の検討を行う体制作りを行った。</li> <li>3. 公開小委員会 (2008 年 7 月 10 日) として、ニコラ・レヴェロン (リヨン大学第二) 氏を講師に迎え講演会を実施し、十分な成果を得た。</li> </ol>
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予算の関係で、小委員会が通信会議を主とせざるを得なく、実際に顔を合わせての会議が困難であり、活動の継続性の確保が難しい。Eメールによる委員同士の協議が多く、今後ネットによる会議も検討しなければならない。</li> <li>2. シンポジウム、セミナー、研究発表会等を企画する場合、かなり早くからの計画・承認が必要であり、予算の関係で他の催し物等で来日した機を捉えて海外の研究者に講演等をお願いしようとしても、委員会主催や後援とするにはスケジュールが合わないことが多い。また東京在住委員の負担が大きくなりがちである。</li> </ol>